

「東日本大震災における仙台市の宅地被災を考える」

シンポジウム開催（案内）

東日本大震災においては、仙台市の丘陵造成宅地において大きな被害が発生しました。被害の状況を把握し、この被害に対して市民協働による復旧・復興に向けて、参加者が意見交換を行うことを目的として、シンポジウムを以下の要領で開催します。ご参加ください。

日時：平成 23（2011）年 9 月 30 日（金）：13時から18時まで

会場：東北学院大学（土樋キャンパス）8号館5階押川記念ホールおよび会議室

主催：公益社団法人地盤工学会東北支部、社団法人日本地すべり学会東北支部

共催：仙台市

後援：社団法人宮城県建築士会、東北学院大学工学総合研究所

入場料：無料

参加申し込み方法：添付の用紙に記入し地盤工学会に FAX（022-711-6033）もしくは
E-mail（jgsb-tohoku@luck.ocn.ne.jp）にてお申し込みください。

申込期限：平成 23 年 9 月 22 日（木）

申し込みは先着順とし、定員（200 名）に達し次第締め切ります。参加不可の場合のみ、当方から連絡いたします。

※土樋キャンパスは駐車できません。公共交通機関（地下鉄五橋駅下車、徒歩 5 分）を利用して、ご来場ください。

□講演会および意見交換会次第（13時から16時予定）

会場：東北学院大学 8 号館 5 階押川記念ホール

総合司会：今西 肇（東北工業大学工学部教授）

1. 趣旨説明（飛田善雄：地盤工学会東北支部長）
2. 挨拶（仙台市）
3. 話題提供：各 20 分程度の話題提供で、5－10 分程度の意見交換を行います。
 - 1) 東日本大震災における地盤災害の概要（吉田望：東北学院大学工学部教授）
 - 2) 仙台市宅地被災の概要（風間基樹：東北大学工学研究科教授）
 - 3) 被災した宅地および住居の復旧工法について（松下克也：ミサワホーム総合研究所）
 - 4) 宅地災害に対する補助事業と宅地の安全について（飛田善雄：東北学院大学工学部教授）
4. シンポジウム参加者による意見交換：50 分程度を予定します。
5. 閉会のあいさつ（檜垣大輔：日本地すべり学会東北支部長）

□地区ごとの意見交換（16時から18時予定、自由参加）

会場：大学内会議室（シンポジウム当日、使用する会議室まで案内します）

大きく太白地区、仙台市西部地区、泉地区に分けて、地区ごとの意見交換会を行います。現状の問題点、不安に感じていること、復旧工法の選定等について問題提起をいただいて、その問題の解決策について専門家が回答するとともに、参加者全員で意見交換を行います。

平成 23 年 月 日

宛先：(公益社団法人)地盤工学会東北支部

FAX: 022-711-6033

「東日本大震災における仙台市の宅地被災を考える」

シンポジウム参加申込書

勤務先名あるいは地区名：	
連絡担当者：	
電話：	FAX：
No.	参 加 者 氏 名 (ふりがな)
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

※申込締め切りは 9 月 22 日 (木) とさせていただきます。